

## 第100回！親子あそびの広場

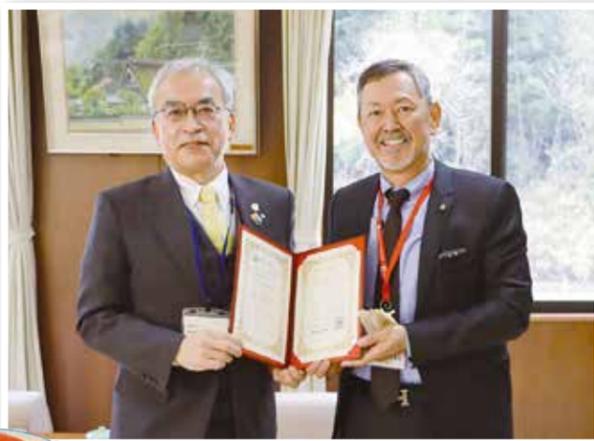


▲1月14日、社会福祉会館で、シルバー人材センター「親子あそびの広場」が開催されました。

親子あそびの広場は、古くから伝わる「伝承あそび」を、子どもたちに伝えたいという思いから続けられており、今回で100回目を迎えました。

この日、参加した子どもたちは、凧揚げや紙風船づくりなどのお正月あそびを通じて、昔の文化に触れるきっかけとなりました。

## 安心して施設を利用いただくために



▲1月4日、令和3年12月に町立図書館および中央公民館の一部に無償で抗菌・抗ウイルス加工を施していただいた(株)加勢の風間 國義代表取締役社長より施工完了報告を受けました。

## 今年一年の安全を願って



▲1月9日、文化体育館駐車場で「消防出初式」を行いました。今年も昨年に続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策として消防職員のみでの実施となりました。

今年一年間火災がなく、皆さんが安全・安心に過ごすことができるよう、願いを込めて放水を行いました。

## 町の玄関口に華を添える



▲12月28日、シルバー人材センターチーム竹の皆さんにより、差組交差点付近の「いなぼう像」に門松が飾られました。この門松は、毎年設置されており、1月11日まで町の玄関口をお正月色に彩りました。

## 地域の安全を願う「三矢の儀式」



▲1月6日、民田地区の八幡神社で町指定無形民俗文化財の「三矢の儀式」が行われました。三矢の儀式は、神社の氏子の成人を祝い、無病息災や五穀豊穡を願って魔除けの的を射る伝統行事で、江戸時代初期に始まったといわれています。近年は氏子が減少し、成人がいない年も増えてきました。しかし、地域住民などが協力し合い、「町に残る伝統として大切に守り、後世に伝えよう」との思いで実施されています。

## ボーイスカウトの最高位章を受章



▲12月22日、日本ボーイスカウト兵庫連盟阪神北地区猪名川1団の川元 天照さん(18歳・伏見台)と谷川 誌恩さん(18歳・つつじが丘)が町長を訪問し、ボーイスカウトの最高位章である「富士スカウト章」の受章を報告しました。

受章した2人は、「僕らが先輩たちから教わってきた知恵や技術、自らの経験を後輩スカウトたちに伝えていきたいです」と、今後のスカウト活動の意気込みを話してくれました。

## 得意技は出頭小手と面返し胴！



▲12月27日、令和4年1月に開催された「第55回全国道場少年剣道大会」の団体戦に兵庫県代表として出場した能勢武勇館の東山 昊さん(松尾台小5年)が、大会に先立ち町長を訪問し、兵庫県予選での活躍と今後の抱負を報告しました。

東山さんは、「全国大会では一人ひとりがやるべきことをしっかりやり、チームの勝利につなげていきたいです」と、全国の舞台での活躍を誓ってくれました。

# ふおと にゅ〜す